

第 24 回北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点（月例会）報告

平成 30 年 10 月 25 日に国立民族学博物館において、第 24 回北東アジア地域研究会・民博拠点（月例会）を開催いたしました。

今回はオーストラリア国立大学よりナターシャ・フィジン（Natasha Fijn）さんをお迎えして、映像作品の上映、および批評を行いました。自身が制作された **Two Seasons: Multispecies Medicine in Mongolia (2018, 95 mins)** は、モンゴルにおけるいくつかの地点を舞台に、家畜や人に対する現地の医療行為を、薬を軸にして描き出していました。

館内構成員 4 名、館内研究者 2 名、総研大院生 3 名、外部 2 名が参加しました。参加者からは、モンゴルにおける地域的な違いや中国市場との関係についての質問が挙げられました。また、獣医や近代的な薬品、また口蹄疫のような伝染病との兼ね合いについて議論が及びました。

